

インフルエンザ警報発令中

感染症予防の原則は、手洗い・うがいの励行、咳エチケットの遵守です。

千葉県は、本年1月26日付で、インフルエンザ警報を発令しました。県によれば、2011年第3週(1月17日～1月23日)の県内の定点あたり報告数が36.38となり、国の定める警報基準値(30)を超えたそうです。1月19日にインフルエンザ注意報が発令されたばかりですが、さらに、この1週間で2倍以上と急増していることから、インフルエンザ予防対策をさらに徹底するよう注意を促しています。

国立感染症研究所によれば、第3週現在、検出されているウイルスは、A/H1N1(パンデミック型)が80%以上となっています。

昨シーズンインフルエンザに罹患しなかった成人層(20代～40代)の患者数の増多が見られるそうです。学生・教職員の皆様にはこの年齢層にあたりますので十分注意してください。当機構には、1月18日～24日までの1週間で27名のインフルエンザ発症報告があり、現在も報告数は急速に増加中です。

- ▶ インフルエンザの予防のため、次のことを心がけましょう。
 - ◇ 栄養と休養を十分にとる。
 - ◇ 外出時には、マスクを着用する。
 - ◇ 帰宅したら、手洗いとうがいをする。
- ▶ インフルエンザにかかったと思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。
- ▶ 県では、「咳エチケット」を推奨しています。
 - ◇ 咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。
 - ◇ マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1メートル以上離れましょう。
 - ◇ 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
 - ◇ 咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

千葉大学の学生・職員が、

A型インフルエンザ又はインフルエンザの疑いと診断された場合には、

総合安全衛生管理機構 043-290-2214 (ナース室) もしくは

043-290-2219 (機構事務室)

info-hsc@office.chiba-u.jp

へご連絡ください。

インフルエンザの予防接種については最寄りの医療機関へお問い合わせください。